

## 心臓造影 CT 検査時の造影剤使用についての説明と同意書

社会福祉法人仁生社 江戸川病院

心臓 CT 検査とは、コンピュータと放射線(エックス線)を使って、心臓や冠動脈の断層画像を作成する検査です。患者さんには、細長い検査台の上に横になっていただき、短いリング状の装置の中を検査台が動く間に撮影します。約 30 分で検査は終了します。

通常的心臓 CT 検査では、検査を受ける人に、放射線による影響はほとんどないと考えられます。

尚、妊娠中や妊娠している可能性がある場合には、胎児への影響が明らかではないため、本検査をご遠慮いただいております。

心臓 CT 検査では、造影剤という検査薬を使用します。まれですが、造影剤の副作用が生じることがあります。

検査当日、心臓 CT 検査では、ベータ遮断薬という薬を使用することがあります。

ベータ遮断薬は、自律神経の働きを抑え心拍数を下げ心臓の動きを抑えるとともに、血圧を下げる効果もあり、高血圧や狭心症などの治療に広く用いられている安全性の高いお薬です。

検査開始後、心臓血管撮影の直前に「血管拡張剤」口腔内(舌の裏側)にお薬をスプレーします。

そこで、以下の副作用についての説明事項をよくお読みの上、心臓造影 CT 検査に同意頂ける場合、下記の同意書にご署名ください。なお、同意頂けない場合、造影剤を用いない単純撮影のみとなる場合があります。この場合、目的によっては造影剤使用した場合と比較し、診断能力が落ちる場合があります。ご了承ください。なお、以前に造影剤にて副作用があった方などは、原則として造影剤は使用いたしません。

※食事の制限はありません。水分摂取のみ可能です。

※ただし検査前 1 時間以内の食事は極力控えて下さい。検査内容によって紹介元医師より、食事に関する指示がある場合もあります。

造影剤使用時の考え得る副作用

- 1, 軽い副作用 : かゆみ、発疹、発赤、嘔気  
これらは約 1%の頻度で起こります。ただし、重篤となることはごくまれで、治療を要しない場合が大半です。また、検査当日に治る場合がほとんどです。
- 2, 重篤な副作用 : ショック、血圧低下、呼吸苦、喉頭浮腫、急性腎不全  
これらは 0.004%、約 2 万 5 千人に 1 人発生すると言われていています。生じた場合、緊急に治療が必要となります。呼吸状態安定のための気管内挿管、昇圧剤、ステロイドという薬などを投与します。入院、集中的な治療が必要となります。
- 3, 晩発性の副作用 : かゆみ、発疹、頭痛  
約 1%の頻度で、検査後数時間から数日で発生することがあります。その場合、担当外来を受診、夜間休日には救急外来を受診してください。
- 4, その他の副作用 : 造影剤の漏出によるもの  
造影剤を注射する際、自動注入機を使用しているため血管に圧力がかかり、まれに血管外に造影剤がもれることがあります。  
湿布等にて対処可能な場合がほとんどです。ごくまれに処置が必要となる場合があります。

ベータ遮断薬によるおこりうる副作用

過度に脈が遅くなったり、血圧が低下したり、心不全が生じるなどの循環器系の症状、めまい、倦怠感、眠気等の精神神経の症状、息が苦しくなるなど呼吸器系の症状等が生じる恐れが僅かながらあります。

血管拡張剤によりおこりうる副作用

血管が広がることにより頭痛、顔や全身の紅潮、ほてりなどが現れる場合があります。また、一時的に血圧が下がり、めまいやふらつきを起こしたり、気分が悪くなる事があります。

気管支喘息の有無 ( なし ・ 有り )

アレルギーの有無 ( なし ・ 有り )

造影剤使用歴 ( なし ・ あり )

有りの場合、副作用はありましたか？ ( なし ・ 有り ) (副作用： \_\_\_\_\_ )

検査前β遮断薬投与 ( 可 ・ 不可 )

- ・PDE5 阻害薬・リオシグアドの投薬ありの場合  
検査前日・検査当日の計2日間の休薬が必要

検査時硝酸薬(血管拡張剤)の投与 ( 可 ・ 不可 )

- ・緑内障ありの場合：硝酸薬の使用不可

---

説明を行った医師 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

### 同意書

心臓造影 CT 検査および検査使用薬(造影剤・ベータ遮断薬・血管拡張剤)についての副作用等、説明を受けました。

診断のために必要性がある場合、検査使用薬(造影剤・ベータ遮断薬・血管拡張剤)を使用することに同意します。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

患者署名 氏名 \_\_\_\_\_

代理人署名 (続柄 \_\_\_\_\_ ) 氏名 \_\_\_\_\_